

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	生活安全モデル地域事業補助事業	事業CD	T 2 7
担当部課	生活環境部市民生活課	部長氏名	吉田 保雄

意見の要旨	最終評価への 反映状況	左の理由	関係協議部署
本事業の総合評価「B」は妥当と思われる。	反映せず。	事業実施町内会では、犯罪の抑止効果が表れているが、モデル地区の指定が一地区に止まったことから「C」とする。	事業評価会議での検討(1/15) 市長・助役ヒアリング(1/28)
今後も継続していく必要があると思う。	反映せず。	市内全域での防犯活動を構築するため、モデル地区の成果を基に、取り組みの方向性を含めて検討する時期である。	
事業推進に当たって、町内会役員会等で「割れ窓理論」を説き、諸活動を推進してきたことが評価に反映されており、評価内容は適切と認められる。	特に検討は必要ないものと考えられる。		
一定の成果が見られる。今後の各種犯罪や事故等の傾向を踏まえ、計画の改善や補正など見直し、事業の継続を希望する。	反映せず。	市内の犯罪発生件数が増加傾向にあることから、全市的な防犯活動を構築するため、モデル地区の成果を基に、指針づくりを行う。	